

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第5号	氏名	嶋田敏生
学位審査委員	主査	下川 功	
	副査	山下 俊一	
	副査	由井 克之	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 血小板活性化因子（PAF）の副腎皮質に対する直接作用とその細胞内情報伝達のメカニズムを検討した研究で、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 モルモット副腎の灌流実験系を確立し、PAF や ACTH、PAF 受容体拮抗阻害剤等に対するコルチゾールの分泌を定量した研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、PAF は生理的濃度でコルチゾールの分泌を刺激すること、その反応は、C キナーゼの活性化を介することなどを明らかにした。今後、コルチゾール分泌の制御機構解明への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は副腎皮質の生理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			